



R. I. 第2630地区 **高山中央ロータリークラブ**
WEEKLY REPORT

2013～2014 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「楽しい時(例会)が素晴らしい人生(ロータリー)を創る」

◆会長 山本 辰男 ◆幹事 中田 専太郎 ◆会報委員長 前越 路子 ◆会報担当 岩垣津 亘

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1008 回	51 名	50 名	46 名	—	92.00%
前々回 1006 回	51 名	50 名	40 名	1 名	82.00%

<点 鐘> 会長 山本 辰男
 <ロータリーソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 山本 辰男

いよいよ例会場での最後の例会になりました。皆様にはご協力本当にありがとうございました。

昨年今頃、今年は7月1日から6月30日までがっちり例会をと力んだのを今更ながら、ちょっぴり後悔をしています。

親睦委員さん・会計さん・そして事務局の河上さん最後の最後までよろしくをお願いします。

早いもので昨年の今頃は富士山の世界遺産登録に日本中が沸いていましたが、今年は富岡製糸工場群が選ばれました。

この工場は官営工場で士族の娘さんが工女として働いていたそうで、飛騨地方から仕事に行った諏訪の製糸工場とは待遇が違ってみたいと思います、それにも増してあの賑わいをみると高山も登録欲しくなりますね。

さて夏至も過ぎ、アユの友釣り解禁も順次あり料理も夏バージョンになってきました。

鱧・穴子・うなぎ・スズキ・鯛・蛸・車エビ・そしてあわび、枝豆・茄子・おくら・小芋・きゅうり、そんな料理をガラスの器に盛り冷たく冷えた生ビールをとりあえず一杯なんて、いかがでしょうか。

年度の初めには、心労で一年後は大分痩せているつもりでしたが、こんな生活を送ってはいは無理ですね、現状維持です。

しかし会長の時間の原稿を始めた14Pから途中で16Pになっていました。

ここに一年間の成果が出ていました、皆様本当に一年間有難うございました。



<幹事報告> 幹事 中田 専太郎

◎国際ロータリー第2630地区ガバナーエレクト事務所より

・ロータリー財団研修セミナーのご案内

日 時：7月27日(日) 10:30～

開 場：岐阜都ホテル

登録料：10,000 円

出席要請者：次期会長・次期ロータリー財団委員長

<北斗企画より>

・ロータリー入門書改訂版作成のお知らせ

<会報>

・美濃加茂RC



<本日のプログラム>
 クラブアッセンブリー

奉仕プロジェクト委員長 坂之上 健一

【移動例会】春慶塗マイ箸作り 「2013年7月27日」
 「奉仕プロジェクト」六委員会合同による長期事業として、ロータリー財団地区補助金を受け「春慶塗マイ箸作り」を行いました。



この事業は、飛騨の伝統工芸を地元の子供たちに体験してもらおうと「高山市教育委員会」「高山工業高校」「飛騨春慶組合」の皆様の協力を得、小学校高学年の児童と親を対象に午前と午後とに分け 40 組・総勢 80 名を対象に行いました。

この事業は飛騨の伝統工芸の後継者不足という大きな問題を抱えた業界の一助になればと計画した事業です。

この事業を終え春慶組合の方々からは、「いい機会を作って頂きありがとうございます」と大変感謝をされ、私たちロータリアンとしてももっと地域に貢献できることが有るのではないかと考えさせられる良い機会となった事業でした。

広報/雑誌/IT 委員長

津田 久嗣

本年度は、「ロータリーの友」をより多く読んで頂けるよう記事の紹介や関連した情報の提供を行うとともに、地域社会におけるロータリーの認知度並びに公的イメージの向上また高山中央ロータリークラブの活動を広く認識される様、高山市民時報に活動を掲載してもらおう一方で「ロータリーの友」「ガバナー月信」「ホームページ」に投稿。特に「フェイスブック」には、多々情報を投稿させていただきました。



ロータリー情報委員長

永井 信次

①IDM 開催

平成 25 年 11 月 6 日(水) 18:30~21:00
会場は田中雅昭氏にお願いして「天獅子」にて。
12 名参加
新会員 1 名 高橋 厚生氏
スピーチ 3 名 三枝 祥一氏 (18 代会長) ロータリーの歴史について

伊藤 正隆氏 (16 代会長) ロータリーの奉仕について
島 良明氏 (14 代会長) 現状と未来について
内容有る質疑応答で充実した IDM でした。

②報告会 11 月 25 日開催 高橋 厚生氏

③講師例会 平成 26 年 1 月 27 日 (月)

2630 地区 新世代部門 青少年交換小委員会委員長
向井龍三氏 (下呂 RC) に卓話を頂く。

当クラブへの青少年交換プログラムへの参加呼びかけ。



友好クラブ交流委員長

高木 純

一年間、副委員長 西倉さん、委員 永田さんとともに友好クラブ委員会を務めてまいりました高木 純です。

活動内容は、今期の 1000 回記念例会を実施するにあたり、大保木さんの指示のもと、平塚湘南ロータリーの杉崎一雄さんと緊密に連絡を取りました。

杉崎一雄さんには、姉妹クラブの提携の過程など溝際さんとの熱いやりとりをお聞かせいただき勉強になりました。中央ロータリークラブ Facebook 交流会に平塚湘南ロータリーの会員も入っていただき、より友好を深めることができました。

今後の創立 25 周年記念例会に向かってより両クラブの友好が深まることを祈っています。



社会奉仕委員長

和田 良博

社会奉仕委員会は委員長和田、橋本副委員長、永井さん、西倉さんで

「時代に合った地域が求めている新しい社会奉仕活動へのチャレンジの啓蒙」を基本方針として講演会を 2 回実施しました。

9 月 9 日は高山市高年介護課矢島課長に少子高齢化の現状と、それに対する高山市の取り組みで、結婚支援、子育て支援、移住促進、介護予防、高齢者の在宅生活支援をお話し頂きました。

2 月 24 日は高山市より講師派遣を頂きました。

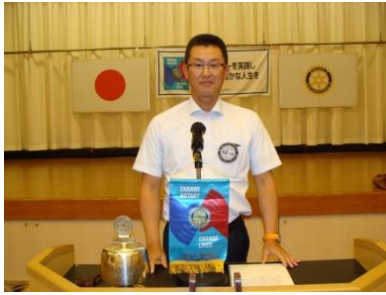
上鶴瀬 高志 (かみうせ たかし) 氏、名古屋在住のプランナーで講演は「経営戦略にライフワークバランスを活かす」と題しまして講演頂きました。内容は、社員は変革を実感する事で、働く意識が改まり動機がアップ、やる気と満足度が出て会社も社員も幸せに成り、持続可能な成長が期待できるとのお話でした。

例会担当以外に飛騨慈光会後援会の運営委員として後援会だよりの原稿作成などや、高山山ゆり園及び清和寮の建設を考える為、半田市へ視察研修に行ってきました。予算面では高山市市民憲章推進協議会、高山市社会福祉協議会、高山市都市提携委員会の年会費のみでの出費で 25,000 円でした。



新世代/青少年育成委員長 堀口 裕之

新世代/青少年育成委員会の基本方針は、「青少年の健全育成の一助となる活動を推進する」でした。



担当例会は昨年平成 25 年 8 月 5 日に新世代/青少年育成を考える例会として、7 月 27 日に行われた「春慶塗マイ箸作り」より村瀬委員による映像を交えた報告と、ロータリー財団奨学生 清水志野さんの近況報告をカウンセラーでもあります清水委員に行っていただきました。

又、6 月 16 日に行われました高山市少年の主張コンクールに黒地副委員長に出席いただきましたのでこの場での報告とさせていただきます。

例会の最後は出前講座の実体験より下田前社会奉仕委員長にお話し頂き、9 月 18 日に実施いたしました出前講座 in 宮中の参考とさせていただきます。

当日、出前講座にご参加いただきました。

平林さん、岩垣津さん、黒地さん、村瀬さん、長瀬さん、永家さん、岡崎さん、下田さん、高橋さん、谷口さん、高原清人さん、今井さん、山本会長、中田幹事ならびに高山 JC の皆さんお疲れ様でした。

無事成功しましたことを皆さんへ報告いたします。

国際奉仕委員長 周 信夫

平成 25 年 12 月 9 日に高山西高校の英語教諭 Brailsford 雅先生をお招きし、高山西高校で海外交流活動について卓話を頂き、ホストファミリーに対する理解を深めていただきました。

平成 26 年 3 月 24 日に高山赤十字病院脳神経外科部長 竹中勝信先生をお招きしスリランカでの医療援助について卓話を頂き、発展途上国での医療の実情について理解を深めていただきました。2 回目の例会を通じ、青少年育成、医療について国際奉仕のあり方を参考になればと思います。

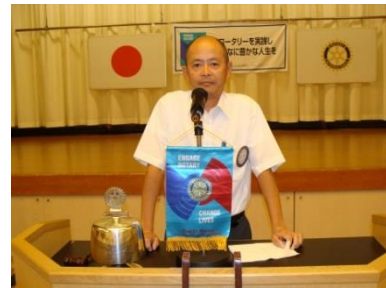


ロータリー財団委員長 岩本 正樹

副委員長に道下さん、委員は富士井さん、大原さんの 4 人で運営いたしました。

今年度からロータリー財団の未来の夢計画による新しい補助金制度が実施され、我がクラブではさっそく奉仕プロ

ジェクト委員会が「親子で体験 春慶塗マイ箸づくり」においてこの新地区補助金を活用していただきました。それと、昨年度は財団寄付金は食事を節約したお金で捻出しましたが、今年度は会長の意向により、皆様方から一人 100 ドルの寄付をクラブ会費とは別に集めさせていただきました。



また、カンボジアの子供たちに文房具を送る支援活動への募金も実施させていただき、お陰様で 38,000 円余りの寄付をさせていただくことができました。大変ありがとうございました。

年次寄付金	53 万円
補助金	16 万円 (30%)

米山奨学委員長 今井 俊治

【基本方針】

米山奨学会情報（歴史・目的・意義）を会員に伝達し、米山奨学の理解を推進する。（米山月間において、担当例会の開催）

【活動報告】

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究の為に日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です。

その目的は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することです。

米山奨学生の採用数は、年間 700 人。奨学団体としては、事業規模・採用数とも、日本国内では民間最大です。

委員会では 2013 年 10 月 28 日に担当例会を行いました。日本のロータリーの創始者で、日本ロータリーの父

「Father of Rotary in Japan」と称されます米山梅吉氏の理解を深めるため、DVD「水漫々の… 米山梅吉その生涯」を例会にて鑑賞させていただきました。

この例会により、クラブメンバーの米山梅吉氏に対する理解が進み、米山奨学会の理解の一助となれば幸いです。一年間、会員の皆様のご協力のもと委員会活動を行うことができたことに感謝をして、活動報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。



会員増強/職業分類/会員選考委員長

長瀬 栄二郎

高山中央ロータリークラブの良さを皆さんで再認識し、各会員のモチベーションをもって仲間の輪を広げることが目標として取り組んでまいりました。

例会としては、平成 25 年 9 月 2 日に鈴鹿シティ RC の山川敬止さんにお越しいただき、卓話を頂きました。

また、平成 25 年 12 月 16 日には、ロータリーに入会して良かった事というタイトルで会員スピーチをいただきました。

増強活動として、会員の皆様に入会していただきたい方のご推薦を頂き、お誘い状を作成して会長と共に勧誘にあがるという取り組みも行いました。

結果として、純増 3 名という目標はまったく達成できませんでしたが、あと数日の今期に期待しつつ、引き続き皆さまと増強活動に取り組んで参りたいと考えております。どうもありがとうございました。



ニコニコ委員長

大原 誠

ニコニコ委員会は高原清人さん(副委員長)、島良明さん、新井信秀さんと私の 4 名が月次の当番制により担当しました。

活動の基本方針について、「会員、会員の事業、ご家族等の慶事・祝時等に常に関心を持ち、ニコニコに対する会員の自発的な寄付行為を促すとともにニコニコへの積極的参加意識が高まるよう、クラブ風土の醸成に努める」として活動した結果、会員皆様には、その趣旨を理解いただき、目標額 70 万円を達成できる見通しにあります。

ありがとうございました。

この 1 年間、ニコニコへの貢献度が高かった会員と併せ、参加コメントの評価が高い会員を表彰させていただきます。

あと 2 回の例会がありますので、会員全員の方が当該表彰候補となっただけますよう、ご協力をお願いします。



<ニコニコBOX>

夏が過ぎ少しづつ陽が短くなる気候になっています。本年度も例会が本日を含め 2 回となりました。夏の汗を流す前に「ありがとうございました」の涙を流しそうです。

理事役員一同

全てに感謝してニコニコへ。

剣田 廣喜

昨日は、最初雨が降っていましたがお蔭様で次第にいい天気になり、足立さん、周さん、伊藤さんに荘川まで連れて行って下さりむろ屋でそばをご馳走になりました。良い人達です。ロータリーの友情に感謝してニコニコへ。

高木 純

先般は、結婚記念日に引き続き妻の誕生日祝いありがとうございました。記念すべき 40 周年を迎え心新たにこれからの人生を考えたいと思います。皆さんよろしくお祈りします。

黒地 重雄

前は就任中、初めて幹事職をスッポかしました。高原副幹事にはご迷惑をお掛けし申し訳ないと同時にありがとうございました。

中田 専太郎

先日は、田中さんの店「天獅子」にて沢山ご馳走になりありがとうございました。またご馳走して下さい。

今井 俊治

斐太高校硬式野球部主将の息子が、先日の「第 96 回全国高校野球選手権岐阜大会抽選会」で見事「開幕ゲーム」を引きました。当日テレビ中継されますので・・・。

堀口 裕之

先週末、飛騨信用組合の第 60 期の通常総代会を無事終えることが出来ました事に感謝してニコニコへ。

大原 誠

一週間早いですが、山本会長・中田幹事、一年間本当にご苦労様でした。楽しい例会でした。ありがとうございました。

大保木 正博